



TITLE:

表紙、巻首図版、序、例言、目次
、図版目次、挿図目次、表目次、
奥付

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙、巻首図版、序、例言、目次、図版目次、挿図目次、表目次、奥付. 京都大学構内遺跡調査研究年報 2019, 2017

ISSUE DATE:

2019-03-29

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/244177>

RIGHT:

京都大学構内遺跡調査研究年報

2017年度

京都大学文化財総合研究センター

版 図 首 卷



京都大学熊野構内 Z Z18区 瓦積み遺構 S X 6

京都大学構内遺跡調査研究年報

2017年度

京都大学文化財総合研究センター

序

本年報は、文化財総合研究センターがおこなった京都大学構内に残る遺跡の発掘調査のうち、2017年度に整理の終了したものについて、その成果をまとめたものである。

第Ⅰ部で紹介する熊野構内の調査では、周辺地での所在が想定されてきた白河北殿や栗田宮の実態を解明するための豊富な資料が得られた。中でも、古代末期頃のものと考えられる鬼瓦片が2点みつかった点は、周辺に寺院が存在した可能性を示す発見として意義深い。また、同地点では幕末期のものと考えられる瓦積み遺構も検出され、絵図にみられる阿波徳島藩邸に関係する遺構ではないかと注目される。これまでの京都大学構内の調査では幕末期の土佐藩邸や尾張藩邸がみつかったが、今回の新たな発見は、幕末における鴨東地域の土地利用の一端を理解するための新たな糸口を示すものとなった。第Ⅱ部の紀要では、13世紀に生まれ、17世紀に現在のものに近い形になったイスラームの呪術書の一端を紹介する論考を掲載した。第Ⅰ部・第Ⅱ部ともにご高覧いただき、ご批評をいただければ幸いである。

本年報は、前身の埋蔵文化財研究センターの発足以来、当センターがおこなう調査・研究の成果についての情報を広く開示する目的で発行されてきた。年報以外にも、発掘調査の進捗のウェブサイト上での紹介、現地説明会の開催、尊攘堂での資料展示などを通じて、発掘情報の公開を心がけてきた。こうした情報公開の一環として2014年度よりはじまった本学総合博物館と連携した特別展「文化財発掘」は、今回で5回目を迎えた。「発掘 乾山窯」と題した今回の展示は、2019年2月20日から4月21日の会期で総合博物館において開催されている。そこでは、京都大学病院構内出土の乾山焼だけでなく、法蔵禅寺や立命館大学、京都市埋蔵文化財研究所、同志社大学の協力を仰いで、京都市内各地で出土した乾山焼を紹介している。今後も各方面の組織との連携を深めながら、社会への情報の発信に努めていきたい。

最後に、学内における発掘調査を円滑に進める上で、施設部をはじめとする関連部局から多大なご協力をいただいている。関係各位に厚く御礼を申し上げるとともに、今後ともご支援ご協力をお願い申し上げます。

2019年3月

京都大学文化財総合研究センター長

吉井秀夫

例 言

- 1 本年報は、京都大学構内で2017年4月1日から2018年3月31日までに発掘、整理作業をおこなった埋蔵文化財調査と保存の報告、および京都大学文化財総合研究センターにおける研究成果をまとめたものである。
- 2 国土座標にしたがって一辺50mの方形の地区割りをして、遺跡の位置を表示した。
- 3 層位と遺構の位置については、国土座標第Ⅵ座標系（日本測地系、 $x = -108,000$
 $y = -20,000$ ）が（ $X = 2,000$ $Y = 2,000$ ）となる京都大学構内座標により表示した。
- 4 遺構の略号は、奈良文化財研究所の方式にしたがって、井戸：S E，土坑：S Kのように表示し、各調査ごとに通し番号を1から付した。
- 5 遺物には、遺跡の調査名を示すローマ数字と、調査ごとの通し番号を1から付した。この遺物番号は、本文、実測図、写真を通じて表示を統一した。
I：京都大学熊野構内Z Z 18区の発掘調査
（例 I 1：京都大学熊野構内Z Z 18区出土遺物1番）
- 6 原則として、遺物の実測図は縮尺1/4、遺物の写真は約1/2に統一した。他の縮尺のものは、それぞれに縮尺を明記した。
- 7 参考文献は、本文中に〔著者名 発表年〕の形式で表わし、巻末に一括した。
- 8 古代・中世土師器の型式分類は、とくにことわりがない場合、『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅱ』（1981年）にしたがっている。
- 9 本文の執筆者名は各章の初めに列記した。また、遺物の撮影は、それぞれ報告者が担当した。なお、図版25のI 759・I 760、26～29は故・寿福滋氏（寿福写房）の撮影写真を使用させていただいた。また、図版2の立面写真は島津功氏（コンピュータ・システム株式会社）が作製した。
- 10 編集は、内記理が担当し、千葉豊、伊藤淳史、富井眞、笹川尚紀、磯谷敦子、柴垣理恵子、長尾玲、藤森良祐が協力した。

京都大学構内遺跡調査研究年報 2017年度

目 次

第 I 部 2017年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

第 1 章 2017年度京都大学構内遺跡調査の概要	1
1 調査の経過	1
2 調査の成果	1
3 北部構内 B G 36区ほかの立合調査	3
第 2 章 京都大学熊野構内 Z Z 18区の発掘調査	5
1 調査の概要	5
2 層 位	6
3 先史時代・古代の遺跡	10
4 中世の遺跡	23
5 古代・中世の瓦	40
6 近世の遺跡	59
7 小 結	151
参 考 文 献	161
京都大学構内遺跡調査要項	165
報告書抄録	176

第Ⅱ部 京都大学文化財総合研究センター紀要X X V

ブーニーに帰せられる呪術思想と妊娠・出産について

1 はじめに	179
2 『大いなる諸霊知の太陽と諸利益の諸機知』刊本の呪術思想	180
3 妊娠・出産に関わる呪術の例	183
4 アッラーの別称の1つ, khāliq (創造者) と妊娠・出産について	187
5 宗教的勤行と受胎後40日の期間について	190
6 おわりに	195

図 版	巻末
-----	----

図 版 目 次

巻首図版 京都大学熊野構内 Z Z 18区 瓦積み遺構 S X 6

図版 1 京都大学吉田キャンパスの地区割と調査地点

図版 2 京都大学熊野構内 Z Z 18区

瓦積み遺構 S X 6

図版 3 京都大学熊野構内 Z Z 18区

1 黒灰色土除去後の調査区全景（北から）

2 完掘後の調査区全景（北から）

図版 4 京都大学熊野構内 Z Z 18区

1 表土・攪乱除去後の調査区全景（北から）

2 黒灰色土除去後の調査区西部（北から）

3 灰褐色土除去後の調査区西部（北から）

4 完掘後の調査区西部（北から）

図版 5 京都大学熊野構内 Z Z 18区

1 東西トレンチ（東から）

2 東西トレンチ西端の堆積（南から）

3 調査区東端付近の東西トレンチ南壁面（北東から）

4 調査区西部の第 9 a 層出土の土器片（南から）

5 調査区西壁の層位（東から）

6 火山灰様堆積物（東から）

図版 6 京都大学熊野構内 Z Z 18区

1 集石 S X 16 検出状況（東から）

2 井戸 S E 8 検出状況（西から）

3 瓦溜 S X 1 検出状況（東から）

4 瓦溜 S X 1 検出状況（北から）

5 集石 S K 15 検出状況（北から）

6 集石 S K 15 検出状況（西から）

図版 7 京都大学熊野構内 Z Z 18区

- 1 集石 S X19検出状況（北から）
- 2 集石 S X19検出状況（東から）
- 3 土器溜 S X14検出状況（北から）
- 4 土器溜 S X14検出状況（西から）
- 5 集石 S X11検出状況（西から）
- 6 集石 S X11検出状況（北から）

図版 8 京都大学熊野構内 Z Z 18区

- 1 集石 S X12検出状況（北から）
- 2 集石 S X12検出状況（東から）
- 3 不定形土坑 S X17検出状況（東から）
- 4 不定形土坑 S X17検出状況（北東から）
- 5 S X17鬼瓦出土状況（東から）
- 6 不定形土坑 S X17完掘後（北東から）

図版 9 京都大学熊野構内 Z Z 18区

- 1 南北溝 S D45南端（南から）
- 2 集石 S X20検出状況（南から）
- 3 集石 S X20検出状況（東から）
- 4 井戸 S E 9（西から）
- 5 井戸 S E 9 内部（北から）
- 6 溝 S D46・S D47完掘後（北から）

図版10 京都大学熊野構内 Z Z 18区

- 1 集石 S X15検出状況（東から）
- 2 集石 S X15北端検出状況（北東から）
- 3 井戸 S E 1 円形木枠痕（南から）
- 4 井戸 S E 1（東から）
- 5 集石 S X13検出状況（南から）
- 6 集石 S X13南端検出状況（東から）

図版11 京都大学熊野構内 Z Z 18区

- 1 井戸 S E 5・野壺 S E 6 (東から)
- 2 井戸 S E 5 内部 (西から)
- 3 井戸 S E 5・野壺 S E 6 半割 (西から)
- 4 集石 S K 11 検出状況 (北から)
- 5 集石 S K 11 検出状況 (西から)
- 6 路面 S F 1 検出状況 (南東から)

図版12 京都大学熊野構内 Z Z 18区

- 1 埋納遺構 S X 9 (北から)
- 2 埋納遺構 S X 9 の内部 (南西から)
- 3 埋納遺構 S X 8 (南から)
- 4 埋納遺構 S P 36 (南から)
- 5 胞衣壺 S X 5 (西から)
- 6 瓦溜 S X 3 (北から)

図版13 京都大学熊野構内 Z Z 18区

- 1 瓦積み S X 6 南側の大溝 S D 2 埋土 (南西から)
- 2 S D 2 最下部の土師器小皿と杭穴 (北から)
- 3 S D 2 東半の杭穴列 (東から)
- 4 S D 2 東半の杭列堀方 (東から)
- 5 S X 6 北面 (北西から)
- 6 S X 6 検出後 (西から)

図版14 京都大学熊野構内 Z Z 18区

- 1 S X 6 エリア 1・2 の瓦積み上げ状況 (南から)
- 2 S X 6 掘削後 (西から)
- 3 S X 6・S D 2 の断面 (西から)
- 4 S X 6 エリア 2 の鬼瓦出土状況 (北から)
- 5 S X 6 畔～エリア 2 の北面の検出状況とその北側の瓦積み基底部付近 (北から)
- 6 調査区南壁の南北溝断面 (北から)

図版15 京都大学熊野構内 Z Z 18区

- 1 縄文土器(1)
- 2 縄文土器(2)

図版16 京都大学熊野構内 Z Z 18区

古代の遺物

図版17	京都大学熊野構内 Z Z 18区 古代鬼瓦(1)	
図版18	京都大学熊野構内 Z Z 18区 1 古代鬼瓦(2)	2 軒丸瓦(1)
図版19	京都大学熊野構内 Z Z 18区 軒丸瓦(2)	
図版20	京都大学熊野構内 Z Z 18区 軒丸瓦(3)	
図版21	京都大学熊野構内 Z Z 18区 軒丸瓦(4)	
図版22	京都大学熊野構内 Z Z 18区 軒平瓦(1)	
図版23	京都大学熊野構内 Z Z 18区 軒平瓦(2)	
図版24	京都大学熊野構内 Z Z 18区 軒平瓦(3)	
図版25	京都大学熊野構内 Z Z 18区 墨書土器	
図版26	京都大学熊野構内 Z Z 18区 1 S X 6 出土棟端瓦(1)	2 S X 6 出土棟端瓦(2)
図版27	京都大学熊野構内 Z Z 18区 1 S X 6 出土棟端瓦(3)	2 S X 6 出土棟端瓦(4)
図版28	京都大学熊野構内 Z Z 18区 1 S X 6 出土棟端瓦(5)	2 S X 6 出土棟端瓦(6)
図版29	京都大学熊野構内 Z Z 18区 1 S X 6 出土棟端瓦(7)	2 S X 6 出土棟端瓦(8)

挿 図 目 次

北部構内 B G36区ほかの立合調査	
図 1	調査地点の位置…………… 4
熊野構内 Z Z18区の発掘調査	
図 2	調査地点の位置…………… 5
図 3	東西トレンチの層位…………… 6
図 4	調査区西壁の層位…………… 8
図 5	縄文時代の遺物(1)……………11
図 6	縄文時代の遺物(2)……………12
図 7	縄文時代の遺物(3)……………13
図 8	縄文時代の遺物(4)……………14
図 9	縄文時代の遺物(5)……………15
図10	縄文時代の遺物(6)……………16
図11	縄文時代の遺物(7)……………17
図12	縄文時代の遺物(8)……………18
図13	古代の遺物(1)……………20
図14	古代の遺物(2)……………21
図15	古代の遺物(3)……………22
図16	中世の遺構……………24
図17	井戸 S E 9 ……………26
図18	出土土師器の計測結果 (その 1) ……………28
図19	出土土師器の計測結果 (その 2) ……………29
図20	S X 16出土遺物, 茶褐色土落込 出土遺物, S E 8 出土遺物…………30
図21	茶褐色土落込20出土遺物…………31
図22	S X 14出土遺物……………33
図23	S X 12出土遺物……………34
図24	S X 17出土遺物(1)……………35
図25	S X 17出土遺物(2), S E 9 出土遺 物……………36
図26	S D 45出土遺物……………38
図27	S K 16出土遺物, S X 20出土遺物, S K 5 出土遺物, S X 11出土遺物, S X 19出土遺物, S X 1 出土遺物, S K 13出土遺物, S K 15出土遺物 ……………39
図28	鬼瓦……………41
図29	軒丸瓦(1)……………42
図30	軒丸瓦(2)……………43
図31	軒丸瓦(3)……………45
図32	軒丸瓦(4)……………47
図33	軒平瓦(1)……………49
図34	軒平瓦(2)……………51
図35	軒平瓦(3)……………53
図36	軒平瓦(4)……………55
図37	軒平瓦(5)……………57
図38	古代・中世瓦の刻印・記号文…………58
図39	近世 1 期の遺構……………60
図40	井戸 S E 5 ・野壺 S E 6 ……………62
図41	近世 2 期の遺構……………63
図42	大溝 S D 2 ……………66
図43	S D 2 の層位……………67
図44	南北溝の層位……………68

図45	S X 6「東面」の瓦積み遺物取り上げ……………70	図60	S X 6「エリア2」の瓦積み裏込めの遺物取り上げ(1)……………85
図46	S X 6「北」の瓦積み遺物取り上げ(1)……………71	図61	S X 6「エリア2」の瓦積み裏込めの遺物取り上げ(2)……………86
図47	S X 6「北」の瓦積み遺物取り上げ(2)……………72	図62	S X 6「エリア2」の瓦積み裏込めの遺物取り上げ(3)……………87
図48	S X 6「北」の瓦積み下層の遺物取り上げ……………73	図63	S X 6「エリア2」の瓦積み下層の遺物取り上げ……………88
図49	S X 6「エリア3」の瓦積み遺物取り上げ(1)……………74	図64	S X 6「エリア1」の瓦積み遺物取り上げ(1)……………89
図50	S X 6「エリア3」の瓦積み遺物取り上げ(2)……………75	図65	S X 6「エリア1」の瓦積み遺物取り上げ(2)……………90
図51	S X 6「エリア3」の瓦積み遺物取り上げ(3)……………76	図66	S X 6「エリア1」の瓦積み遺物取り上げ(3)……………91
図52	S X 6「エリア3」の瓦積みとそ の下層の遺物取り上げ……………77	図67	S X 6「エリア1」の瓦積みとそ の下層の遺物取り上げ……………92
図53	S X 6「畔」の瓦積み遺物取り上げ(1)……………78	図68	S D43東西肩茶褐色土Ⅱ出土遺物, S D43出土遺物……………99
図54	S X 6「畔」の瓦積み遺物取り上げ(2)……………79	図69	S X15出土遺物, S X13出土遺物 (1)……………101
図55	S X 6「畔」の瓦積み遺物取り上げ(3)……………80	図70	S X13出土遺物(2)……………102
図56	S X 6「畔」の瓦積み下層の遺物 取り上げ……………81	図71	S X13出土遺物(3)……………103
図57	S X 6「エリア2」の瓦積み遺物 取り上げ(1)……………82	図72	S K11出土遺物, S D33出土遺物 ……………104
図58	S X 6「エリア2」の瓦積み遺物 取り上げ(2)……………83	図73	S E 5出土遺物(1)……………106
図59	S X 6「エリア2」の瓦積み遺物 取り上げ(3)……………84	図74	S E 5出土遺物(2), S E 6下層出 土遺物, S E 6上層出土遺物 ……………107
		図75	S F 1下層出土遺物(1)……………108

図76	S F 1 下層出土遺物(2), S F 1 上層出土遺物	109	図94	S X 6 出土遺物(11)	132
図77	S X 8 出土遺物, S X 9 出土遺物, S P 35出土遺物	110	図95	S X 6 出土遺物(12)	133
図78	S D 2 出土遺物(1)	112	図96	S X 6 出土遺物(13)	134
図79	S D 2 出土遺物(2)	114	図97	S X 6 出土遺物(14)	135
図80	S D 2 出土遺物(3)	115	図98	S X 6 出土遺物(15)	136
図81	S D 2 出土遺物(4)	116	図99	S X 6 出土遺物(16)	137
図82	S D 2 出土遺物(5)	117	図100	S X 6 出土遺物(17)	138
図83	S X 7 出土遺物	118	図101	S X 6 出土遺物(18)	139
図84	S X 6 出土遺物(1)	120	図102	S X 6 出土遺物(19)	140
図85	S X 6 出土遺物(2)	121	図103	南北溝出土遺物(1)	141
図86	S X 6 出土遺物(3)	123	図104	南北溝出土遺物(2)	142
図87	S X 6 出土遺物(4)	124	図105	南北溝出土遺物(3)	144
図88	S X 6 出土遺物(5)	125	図106	南北溝出土遺物(4)	145
図89	S X 6 出土遺物(6)	126	図107	南北溝出土遺物(5)	146
図90	S X 6 出土遺物(7)	127	図108	南北溝出土遺物(6)	147
図91	S X 6 出土遺物(8)	129	図109	瓦積み遺構にかかわる近世瓦の刻印(1)	149
図92	S X 6 出土遺物(9)	130	図110	瓦積み遺構にかかわる近世瓦の刻印(2)	150
図93	S X 6 出土遺物(10)	131	図111	幕末頃の本調査区周辺	156

表 目 次

表 1	S X 6 出土瓦の種類と出土位置	93	表 2	京都大学構内遺跡のおもな調査	166
-----	-------------------	----	-----	----------------	-----

第 I 部 2017年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

第1章 2017年度京都大学構内遺跡調査の概要

第2章 京都大学熊野構内 Z Z 18区の発掘調査

第Ⅱ部 京都大学文化財総合研究センター紀要X X V

ブーニーに帰せられる呪術思想と妊娠・出産について

長尾 玲

2019年3月29日 発行

京都大学構内遺跡調査研究年報
2017年度

編	集	京都大学文化財総合研究センター
発	行	京都市左京区吉田本町
印	刷	三星商事印刷株式会社
製	本	京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町300